

- 36 悪名遂欲罌 悪名は遂に罌かんと欲す
 37 未曾邪勝正 未だ曾て邪は正に勝たざれど
 38 或以實歸權 或は實を以て權に歸す
 39 移徙空官舎 移徙るは 空しき官舎
 40 修營朽采椽 修營す 朽ちたる采椽

【五段】

この十句では、四段より続いて、太宰府謫居の描写とその心境を詠う。

- 41 荒涼多失道 荒涼として多く道を失ふ
 42 廣袤少盈塵 廣袤塵に盈つること少し
 43 井壅堆沙甃 井壅がつて沙を堆くして甃む
 44 籬疎割竹編 籬疎にして竹を割りて編む
 45 陳根葵一畝 陳根の葵 一畝
 46 斑蘚石孤拳 斑蘚の石 孤拳
 47 物色留仍舊 物色留つて舊に仍る
 48 人居就不悛 人居 就いて悛らず
 49 隨時雖徧切 時に随ひて徧切なりと雖も